

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年11月期)

## 水質概要

11月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層13.2、中層14.0、下層14.4)と比較してほぼ平年並みの変動を示していた。図1に示すように、11月の水温は10~15で変動しており、11月上旬から水温が低くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

11月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層7.9psu、中層9.3psu、下層11.6psu)と比較して3~5psu程度高い分布を示した。また、11月観測においては、高気圧が見られる11月6日~8日には高塩分水の流入が見られなかったが、ほぼ周期的に高塩分水の流入が確認された。

11月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおりほぼ7.3~9.5mg/lの変動であった(平均値:上層9.2、中層:8.1、下層:8.7)

表1 11月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( $^{\circ}$ C)	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	11.6	9.9	9.5
	中層	11.8	13	7.3
	下層	11.8	13.1	8.1
中旬	上層	10.2	8.6	9.7
	中層	10.5	12.2	8.6
	下層	10.5	12.5	9.6
下旬	上層	9.7	10.2	8.6
	中層	10	13.3	8.4
	下層	10.1	12.9	8.6
月間平均 (11月)	上層	10.5	9.6	9.2
	中層	10.8	12.8	8.1
	下層	10.8	12.9	8.7

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

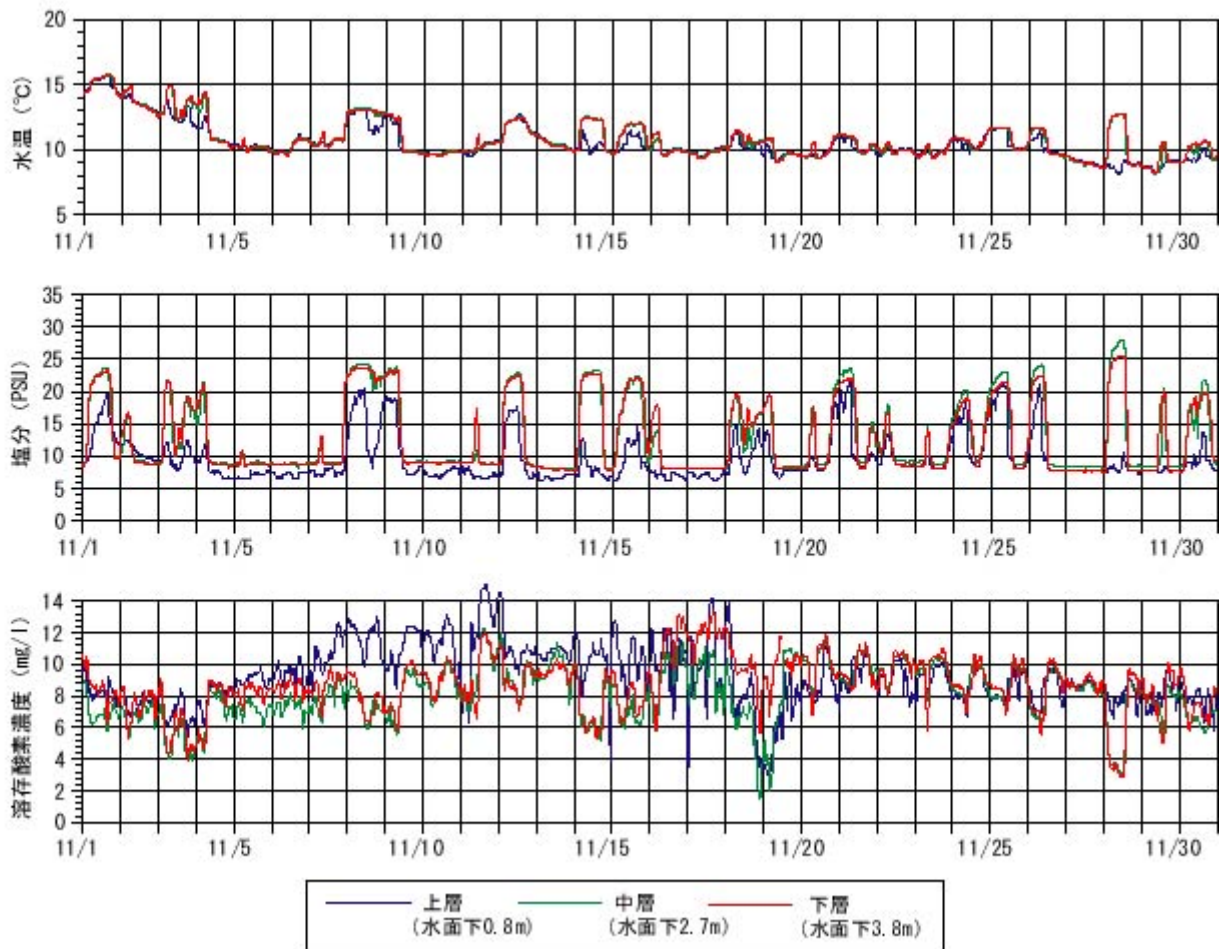


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、11月の気圧変動は、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1013.1hPaは、平年値（平年値1020.5hPa）と比較して低かった。表2に示すとおり、11月の日射量は、0.0360MJ/m<sup>2</sup>であり、10月と比較して低い値を示していた（10月平均値：0.0651MJ/m<sup>2</sup>）。11月の風向・風速は、平均風速3.5m/sec（平年値2.9m/sec,西風）であり、平年並の値と比較して低かった。

表 2 11 月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	9.6	1010.9	4.6	南西	0.0288
中旬	9.7	1014	3.3	南西	0.0453
下旬	8.6	1014.5	2.6	南	0.0338
月間平均 (11月)	9.3	1013.1	3.5	南西	0.036

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )

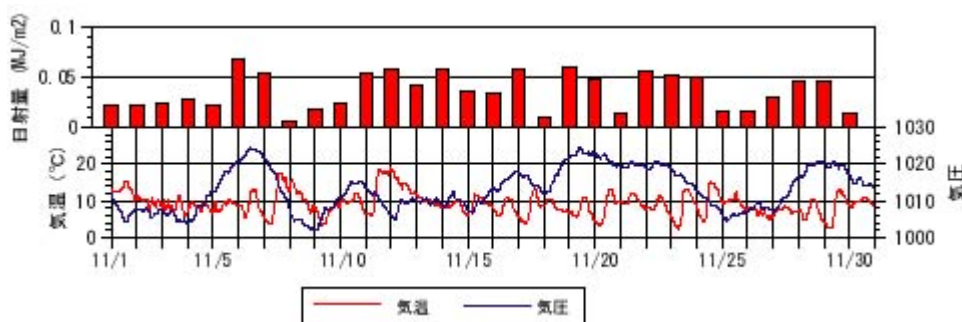


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

11 月の平均東方流速は、上層 22.9cm/sec、中層 10.7cm/sec、下層 9.8cm/sec であった。11 月の東方流速は、潮汐による往復流が卓越していた。11 月 5 日～8 日に見られる高気圧の張り出しによって往復流は見られるものの、宍道湖から中海方向へ流れる流速値が小さいために高塩分水の遡上がほとんど見られなかった。

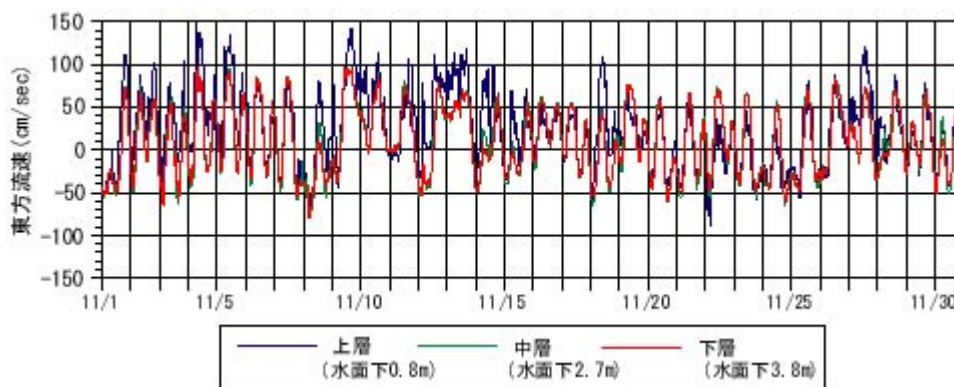


図 3 東方流速の時系列変化

